

地質ニュース

昭和 49 年 5 月

第 237 号

1974

	昭和 49 年度の事業計画	企画室	1
解説	地表およびそと近傍の地質学的問題点と物理探査①	山武小高 田居林橋 正由 春之創博	5
	最近北上山地で見つかった新しいマンガン鉱物 その 2 木下石 (knoshitalite)	吉井守正	14
トピックス	西之島火山の活動とその観測	小坂丈予	18
	超小型ドリルのまとめ	丹伊河小 治藤内川 耕吉英銀 吉助幸三	26
	火星の地質学⑥	小森長生	34
海外事情	中央アフリカ共和国の旅④～悩みと喜びと～	小村幸二郎	44
	学会掲示板		4
	地学と切手	P. Q.	57

編集 地質調査所

表紙の写真

西之島火山の海中噴火

1973年10月9日朝の活動状況。この時点では、左手前の同年9月11日に発見された第1新島、中央手前の低く小さい第2新島、後方の第3新島の3つが海面上にあらわれており、爆発は第3新島の裏側（西側）の海中でおこっていた。当時の噴火間隔は1～2分おきで、最初このような水柱（黒色）を勢よく約250～300m噴き上げ、これには多量の火山灰、噴石が含まれている。噴石は写真のように水柱よりも高く抛り上げられるものもあり、またあるものは白色の水蒸気の尾を引くものもある。この状態が過ぎると、発生する多量の水蒸気による噴煙がこの水柱にとって替り、さらに1000～1500mの高さに達する（小坂丈予 本文参照）—東京工業大学 地学教室 湊一郎撮影—

発行 株式会社 実業公報社